

「新しい生活様式」の実践について

本校では、感染症拡大防止、差別や偏見等を防ぐための様々な取組を行っています。児童生徒の感染リスクを極力減らしながら、自他共に健康で、安全・安心な学校生活を送られるように教職員一丸となって取り組んでいきますので、保護者の皆様におかれましても、以下の内容を御確認のうえ、御協力をお願いいたします。

1 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保 ②マスクの着用 ③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m) 空ける。
- 遊びに行くなら、屋内より屋外 を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り 真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときには、症状がなくてもマスクを着用する。
- 家に帰ったら、まず 手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に 洗う(手指消毒薬の使用も可)。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモする。
- 地域の感染状況に注意する。

2 日常生活を営む上での基本的生活様式

- こまめに手洗い・手指消毒をする。
- 咳エチケットを徹底する。
- こまめに換気をする。
- 身体的距離を確保する。
- 「3密」を回避(密集、密接、密閉)する。
- 毎朝体温測定、健康観察記録表に記入する。発熱又は風邪の症状がある場合は自宅で療養する。

3 学校生活の各場面別の生活様式

登下校

- 通学バスや車内はマスクを着用する。
- 会話は控えめにする。
- 可能な限り座席間を空ける。
- 登下校後、交通機関利用後は手洗い・うがい・手指消毒をする。

授業時間・休み時間

- こまめに窓を開け、換気する。
- 常にマスクを着用する。
- グループやペアなど向かい合って話をしない。
- 休み時間はこまめに手洗いをする。
- 常に人との間隔を空ける。

給食

- 食事前に検温、丁寧に手洗いをする。
- 一人ひとり正面を向いて、食事をする。
- 食事中は、おしゃべりは控えめにする。

その他

- 新型コロナウイルスなどの感染症に関して、差別や偏見につながるような軽はずみな言動をしない。
- 児童生徒の実態によって、常時マスク着用が難しい場合は配慮する。
- 医療的ケア対象生や持病のある人と接する際には、体調管理をより厳重にする。